

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	05	01	0403	生涯学習活動支援事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-3	生涯学習の推進			
	施策	1	自主的学習の推進			
目的	自主的な生涯学習の取り組み支援					
対象	市民及び市民団体					
意図	生涯にわたっていつでもどこでも学べる環境を提供する					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
<p>○ふれあい出前講座 生涯学習講師、公共機関の職員を10人以上のグループに講師として派遣。専門知識等を生かした講座実施</p> <p>○はなまきまるごまなびのスタンプラリー 各課（機関）の事業を生涯学習の単位と見做すことで、主体的な生涯学習活動を支援</p> <p>○生涯学習フェア まなび学園祭 まなび学園利用者の学習成果の発表の場・市民の生涯学習のきっかけづくり</p> <p>○まなびキャンパスカード 児童生徒・富士大学生が公共施設を利用しやすくすることで、ふるさと花巻への認識を高める。</p> <p>○学習資源検索システム 指導者・生涯学習団体・先人・学習相談機関などをHP（はなまきまなびガイド）で紹介</p>						
市民参画の有無 [ 対象外 ]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	生涯学習団体登録数	団体	計画	185	190	195
			実績	156	139	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	生涯学習講師新規登録者数	人	目標		20	20
			実績	12	14	
②	受講者アンケートによる、もっと学んでみたいと思う人の割合	%	目標		80.0	
			実績		95.7	
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
【H26成果指標の設定根拠】 「生涯学習講師新規登録者数」は、学んだことを次につなげるため、自ら講師として実践することを目標としており、新規講師として登録した数を成果とし、全体登録者数のおおむね20%程度となる20人を目標値として設定した。		
・本事業による学びの機会の提供により知識、経験を深めた方に、自ら新たな講師として14人の登録をいただいたが、若干目標人数は達成できなかった。より習熟度を高めていただくよう学習機会の提供が必要。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	・生涯にわたっての学び、心豊かな生活を送るため、市民の生涯学習への取組みを支援することは妥当である
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	・生涯学習活動への支援により、趣味や生きがいのため学習として個人を高めるだけでなく、地域づくりへの関心等も深まり、学習に取り組み市民が増えていくことが期待できる
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	・事業費は講師の派遣経費や学習資源の検索システムのランニングコスト等であることから削減余地はない。 ・職員が関わるのは、内容の企画立案・実績集約・講師との連絡調整などが主な業務であり、人件費の削減余地はない
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	・受益者は、特定の市民ではなく、希望する全市民の誰もが対象であることから、受益機会は均等である
総合評価 …上記評価結果の総括		
生涯学習のきっかけづくりとして多様な学習機会等の提供を行ったことにより、多数の市民の利用があり、主体的、自主的に学ぶ意欲の醸成を図った。		

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	10	05	01	0403	生涯学習活動支援事業

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		34,698	6,388		△ 28,310
財源内訳	国・県				
	地方債	1,000			△ 1,000
	その他				
	一般財源	33,698	6,388		△ 27,310

事業期間	○ 単年度繰返	□ 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---------	--------	-----------------

部経営方針における目標

文化の香り高いまちをつくります

事業開始の背景・経緯

市内の施設や地域資源などの学習資源を活用し、市全域がまなびのキャンパスとなって、市民が自主的に学べる環境づくりを進めるとともに、市民が自らのニーズに基づき学習した成果を地域に還元し、まちづくりにつなげることが求められている。

事業概要

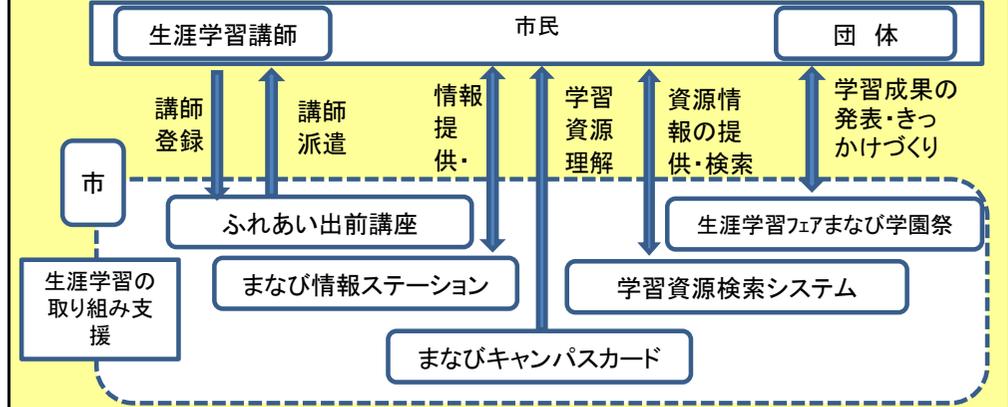
- ふれあい出前講座  
生涯学習講師、公共機関の職員を10人以上のグループに講師として派遣。専門知識等を生かした講座実施
- はなまきまるとまなびのスタンプラリー  
各課（機関）の事業を生涯学習の単位と見做すことで、主体的な生涯学習活動を支援
- 生涯学習フェア まなび学園祭  
まなび学園利用者の学習成果の発表の場・市民の生涯学習のきっかけづくり
- まなびキャンパスカード  
児童生徒・富士大学生が公共施設を利用しやすくすることで、ふるさと花巻への認識を高める。
- 学習資源検索システム  
指導者・生涯学習団体・先人・学習相談機関などをHP（はなまきまなびガイド）で紹介

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

- ふれあい出前講座の「生涯学習講師編」は、講師登録者数（約122人）と多く、市民が培った学習成果の発表の場ともなっている。一方で利用団体数が右肩上がりであり、好評である。今後もニーズに広く答え仕組みづくりに取り組む必要がある。
- 生涯学習フェアまなび学園祭は、出展団体数が増加しており、市の生涯学習拠点施設の学習成果の発表の場となっている。

担当部署 部名 生涯学習部 課名 生涯学習交流課 担当係長 上野 剛 内線 401 (単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



- ① ふれあい出前講座 2,054千円  
報償費1,925、需用費65、役務費64
- ② まなびキャンパススタンプラリー (ゼロ予算)
- ③ 生涯学習フェア まなび学園祭 766千円  
報償費50、需用費168、役務費11、委託料408、役務費129
- ④ まなびキャンパスカード 199千円  
需用費199
- ⑤ 学習資源検索システム(はなまきまなびガイド) 163千円  
委託料163
- ⑥ まなび情報ステーション (ゼロ予算)
- ⑦ 共通経費 3,206千円